

ロジックモデルの指標について

QI指標

計画の進捗管理にロジックモデルを活用



ロジックモデルの 活用について記載

第5章 がん対策の総合的かつ計画的な推進

4 がん対策の進捗状況の把握及び評価

がん対策の推進に当たっては、「宮城県がん対策推進協議会」において、毎年、その進捗状況を把握するとともに、県民の意見等を踏まえつつ、がん対策の効果の検証及び評価を行います。

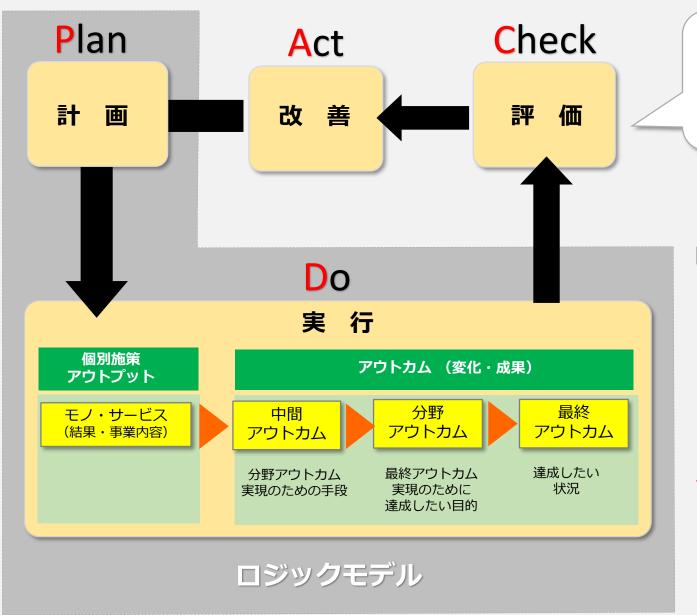
本計画の進捗状況を適切に把握し、管理するため、3 年を目途に中間評価を実施します。

各分野の施策が、分野別目標及び個別目標の達成に向けて効果をもたらしているか、ロジックモデルを活用した科学的・総合的な評価を行います。また、分野別目標及び個別目標の達成状況及び計画の進捗状況の把握に当たって、適切な指標が設定されているか、必要に応じて見直しを行います。

指標を評価する際には、第3期評価を踏襲し、全国値がある指標は、全国比較及び全国順位踏まえた評価を行います。

県:第4期計画の進捗管理に「ロジックモデル」を採用

ロジックモデルとPDCAサイクルのイメージ



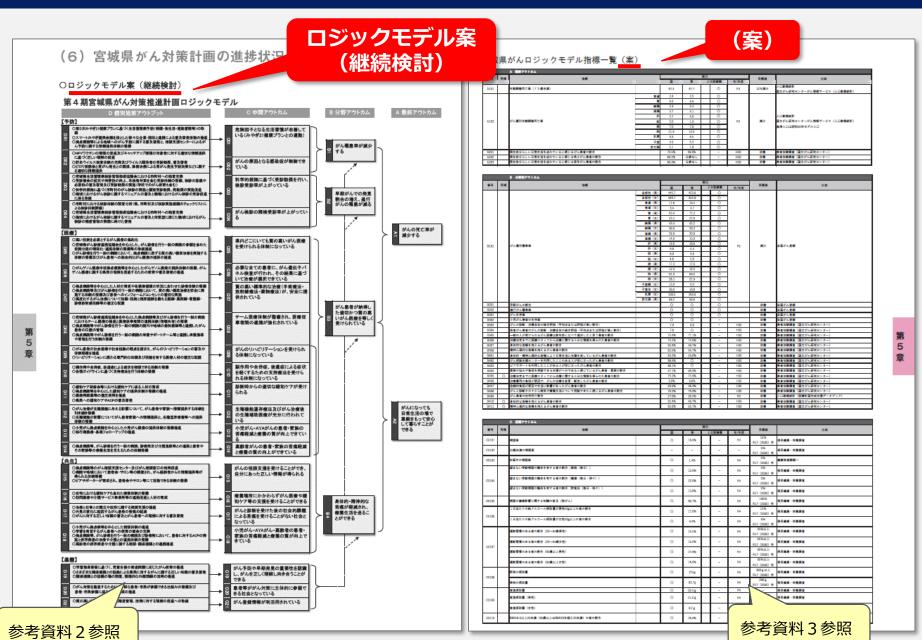
計画は一度作成したら 終わりではなく、成果 を評価し、目標実現ま で定期的に改善してい きます。

ロジックモデルとは

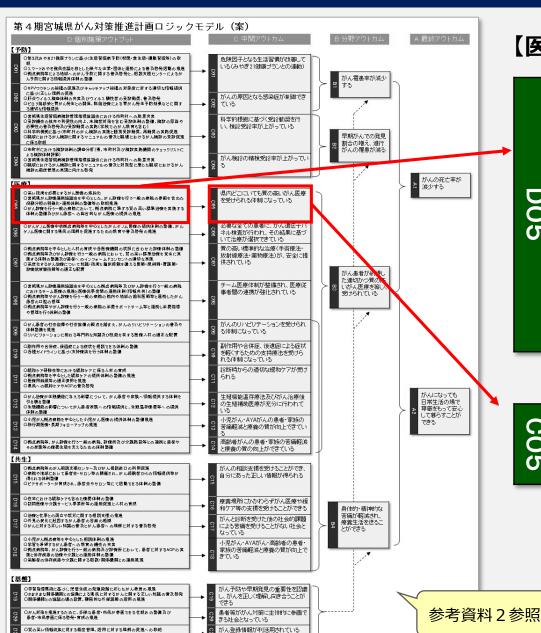
事業の<u>**設計図**</u> みたいなもの

各事業が、どのような **道筋**で目的を達成しよう としているのかの仮説 (戦略)を示したものとも 言えます。

ロジックモデルと指標



ロジックモデル



【医療】

- ○高い技術を必要とするがん医療の集 約化
- ○宮城県がん診療連携協議会を中心と した、がん診療を行う一般の病院の参 画を含めた役割分担の明確化・連携 体制の整備等の取組推進
- ○がん診療を行う一般の病院において、 拠点病院に準ずる質の高い標準治療 を実施する体制の整備及びがん患者 への総合的ながん医療の提供の推進



県内どこにいても質の高いがん医療を受 けられる体制になっている

> 「CO5」の達成状況を 評価する指標は?

がんロジックモデル指標一覧

C 初期アウトカム 一部抜粋

番号	指標	出典
C0301	がん検診受診率	国民生活基礎調査 国立がん研究センターがん情報サービス
C0302	指針に基づく各検診部位の検診を「実施した」と回答した市町村数	市区町村におけるがん検診の実施状況調査
C0303	個別勧奨を実施している市町村数	市区町村におけるがん検診の実施状況調査
C0401	精密検査受診率	地域保健・健康増進報告
C0402	要精検者全員に受診可能な精密検査機関名の一覧を提示した市町村の割合	市区町村におけるがん検診の実施状況調査
C0403	精密検査未受診者に精密検査の受診勧奨を行った市町村の割合	市区町村におけるがん検診の実施状況調査
C0501	QI指標	(詳細は別途定める)
C0601	がんゲノム情報管理センターに登録された患者の数	各がんゲノム医療中核拠点病院等がC-CAT を参照して記載した現況報告書
C0602	がんゲノム医療中核拠点病院等において遺伝性腫瘍に関する遺伝カウンセリングを 実施した患者の数	NDBオープンデータ がんゲノム拠点病院現況報告書
C0603	がんに関する遺伝カウンセリング加算の拠点病院における実施施設数および件数	宮城県がん診療連携協議会調査
C0604	拠点病院で遺伝医学に関する専門的知識・技能を有する医師・医療スタッフの数	宮城県がん診療連携協議会調査
C0605	ゲノム情報を活用したがん医療について知っているとがん患者が回答した割合	患者体験調査(国立がん研究センター)
C0606	がん治療前に、セカンドオピニオンに関する話を受けたがん患者の割合	患者体験調査(国立がん研究センター)

C0501 QI指標について

令和5年度第4回協議会 第4期計画には、具体的な指標は記載せず、次年度以降議論とする令和6年度第1回協議会 QI指標について審議

参考資料3参照

QI (Quality Indicator) と県の指標について

国立がん研究センター

がん独自の指標

「診療の質指標」

<u>標準的な診療がどの程度行われているか</u>を、その実施率(行われている 割合)でスコア化するものです。

「がん医療の均てん化」の達成度を評価するため、がん医療の質を測定する標準的な方法を開発



診療の質指標 Quality Indicator



QIプロセス指標(標準診療実施率)

実施率= (標準診療を受けた患者) ÷ (標準診療の適応のある患者数)

合計:206指標

(平成21年3月時点)

指標数が多く、回答には 病院側の負担が大きい

県の指標とするQI

| 必要最小限の代表的な指標に絞って選定する。

<u>宮城県がん診療連携協議会</u>「がん登録部会」及び都道府県がん診療連携拠点病院が中心となり<u>各専門医等に相談の上、選定</u>する。



第1回協議会で了承 → 第2回宮城県がん対策推進協議会までに案を提示

宮城県がん診療連携協議会の選定案

指標選定に当っての宮城県がん診療連携協議会の考え方

「宮城県がん診療におけるQI指標の選定ワーキング」を設置し、対象となるがん種について、①**患者さんにとって重要であり、臨床的にも意義がある指標、②県内のがん診療連携拠点病院のすべてで実施されており、ある程度の実施が見込まれる指標、③改善の必要性が高いと思われる**指標を選定に当っての基準とした。

	11×1==				
がん種	指標 番号	名称	標準診療	コメント	
			分母	分子	
肺	lg1	IV期の腺癌に対するが ん薬物療法前のEGFR遺 伝子変異検査	臨床病期IV期の肺腺癌と診断され、 がん薬物療法を施行された患者数		
	lg28	I-Ⅱ期非小細胞肺癌に 対する外科切除あるい は放射線療法	臨床病期 I - II 期非小細胞肺癌と 診断された患者数	外科切除あるいは放射線療法を 施行された患者数	
子宮頚	cv23	III・IVA期に対する同 時化学放射線療法	III・IVA期と診断された患者数	初回治療として同時化学放射線 療法(CCRT)が行われた患者 数	
卵巣	ov3	治療前の深部静脈血栓 症のスクリーニング	卵巣がんで治療が行われた患者	Dダイマー測定または下肢静脈 超音波検査が行われた患者(治療開始2ヶ月前以内)	非上皮性腫瘍は除外
子宮体	ut11	再発中リスクの子宮体 癌への術後療法	子宮体癌で子宮悪性腫瘍手術を受 けた再発中リスクの患者	術後化学療法、または、放射線 療法を受けた患者	
胃	st3	切除不能IV期胃がんへ の化学療法前HER2検査	切除不能進行胃癌で初回化学療法 が行われた患者数	初回化学療法前にHER2テスト を実施した患者数	切除不能=「StageIVで手術 がないもの」として抽出
大腸	c32	III期大腸癌への術後化 学療法	組織学的StageⅢと診断された大 腸癌患者数	術後8週間以内に標準的補助化 学療法が施行された患者数	
乳	b35	乳房温存術後の放射線 療法	乳房温存術を受けた70歳以下の 乳癌患者数	術後全乳房照射が行われた患者 数(術後7か月以内)	分子: 術後化学療法なし→ 術後放射線治療が最後の手術日 から140日以内、 術後化学療法あり→ 術後放射線治療が最後の手術日 から240日以内

指標(選定案)の実施状況

		2021(R3)年の状況									
がん種			全国		宮城県						
	指標 番号	名称	対象 患者数 (人)	実施率 (%)	対象 患者数 (人)	実施率 (%)	調査参加 病院数 ※	(うち) 実施率 100% 病院数	割合 (%)		
肺	lg1	IV期の腺癌に対するがん薬物療 法前のEGFR遺伝子変異検査	9,881	81.6	180	78.9	9	3	33.3		
	lg28	I-Ⅲ期非小細胞肺癌に対する 外科切除あるいは放射線療法	38,570	91.2	729	92.3	9	1	11.1		
子宮頚	cv23	III・IVA期に対する同時化学放 射線療法	1,389	59.0	21	57.1	6	1	16.7		
卵巣	ov3	治療前の深部静脈血栓症のスク リーニング	6,717	81.2	135	82.2	7	1	14.3		
子宮体	ut11	再発中リスクの子宮体癌への術 後療法	1,728	63.8	36	75.0	6	1	16.7		
胃	st3	切除不能IV期胃がんへの化学療法前HER2検査	6,435	68.6	110	68.2	9	0	0		
大腸	c32	III期大腸癌への術後化学療法	18,123	53.3	245	51.0	9	0	0		
乳	b35	乳房温存術後の放射線療法	16,390	75.1	326	79.1	9	2	22.2		

[※] 調査参加病院数は、院内がん登録を行っている病院(当該治療を実施している病院数)

指標 (選定案) の実施状況①

肺がん IV期の腺癌に対するがん薬物療法前のEGFR遺伝子変異検査 2021年

 QI-lg1 IV期の腺癌に対するがん薬物療法前のEGFR遺伝子変異検査

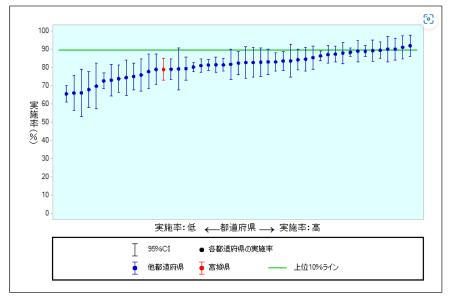
 分子: 初回がん薬物療法開始前にEGFR遺伝子検査が行われた患者数

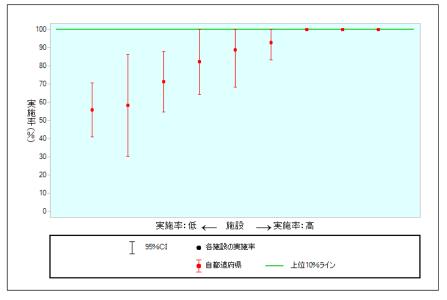
 分母: 臨床病期IV期の肺腺癌と診断され、がん薬物療法を施行された患者数

 コメント:

 グループ・全体: (対象患者数) 9881 (実施率) 81.6% 宮城県: (対象患者数) 180 (実施率) 78.9%

■都道府県の分布





指標(選定案)の実施状況②

肺がん I-Ⅱ期非小細胞肺癌に対する外科切除あるいは放射線療法 2021年

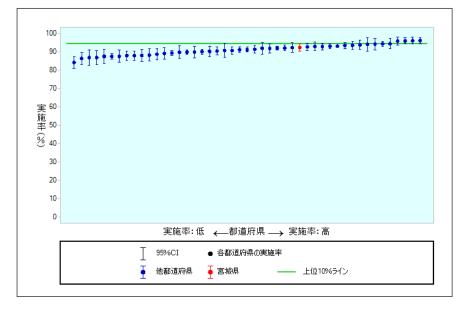
 QI-Ig28 I-II 期非小細胞肺癌に対する外科切除あるいは放射線療法

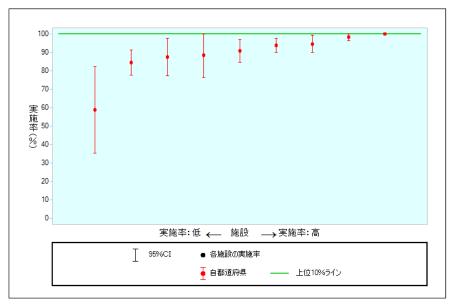
 分子
 外科切除あるいは放射線療法を施行された患者数

 分母
 臨床病期 I-II 期非小細胞肺癌と診断された患者数

 コメント
 ジループ
 (対象患者数) 38570 (実施率) 91.2% 宮城県: (対象患者数) 729 (実施率) 全体 92.3%

■都道府県の分布





指標(選定案)の実施状況③

子宮頸がん III・IVA期に対する同時化学放射線療法 2021年

QI-cv23 III・IVA期に対する同時化学放射線療法

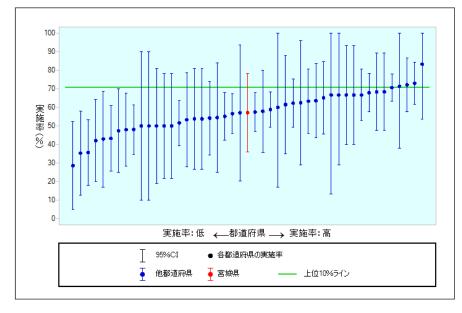
分子: 初回治療として同時化学放射線療法 (CCRT) が行われた患者数

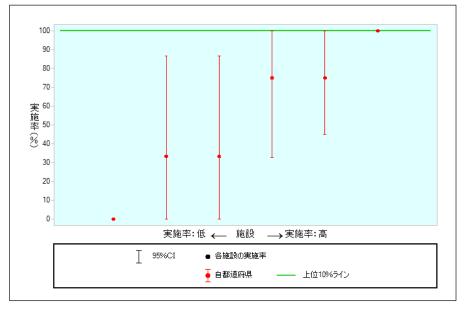
分母: III・IVA期と診断された患者数

コメント:

グループ: (対象患者数) 1389 (実施率) 59% **宮城県:** (対象患者数) 21 (実施率) 57.1%

■都道府県の分布





指標(選定案)の実施状況4

卵巣がん 治療前の深部静脈血栓症のスクリーニング 2021年

OI-ov3 治療前の深部静脈血栓症のスクリーニング

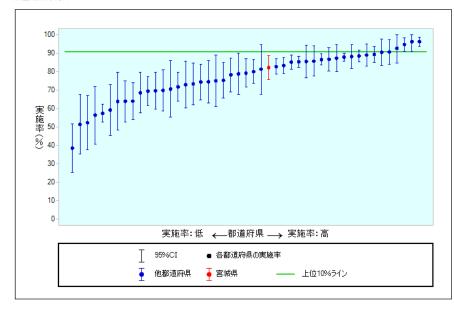
分子: Dダイマー測定または下肢静脈超音波検査が行われた患者(治療開始2ヶ月前以内)

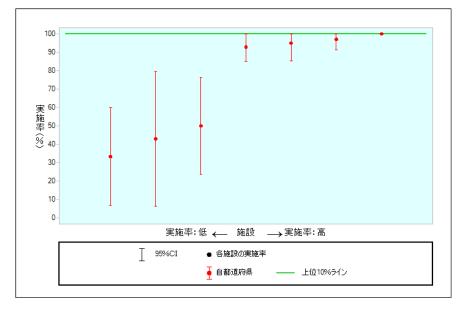
分母: 卵巣がんで治療が行われた患者

コメント: 非上皮性腫瘍は除外

グループ: (対象患者数) 6717 (実施率) 81.2% **宮城県:** (対象患者数) 135 (実施率) 82.2%

■都道府県の分布





指標(選定案)の実施状況⑤

子宮体がん 再発中リスクの子宮体癌への術後療法 2021年

QI-ut11 再発中リスクの子宮体癌への術後療法

分子: 術後化学療法、または、放射線療法を受けた患者

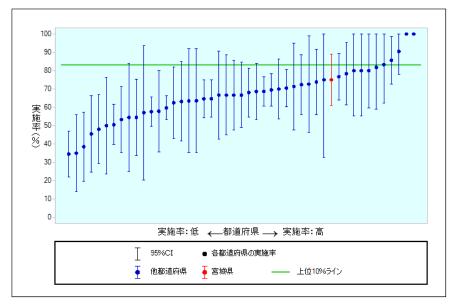
分母: 子宮体癌で子宮悪性腫瘍手術を受けた再発中リスクの患者

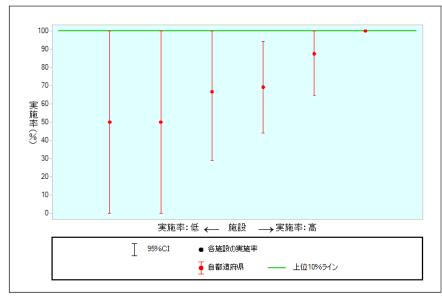
コメント:

グループ

(対象患者数) 1728 (実施率) 63.8% **宮城県:** (対象患者数) 36 (実施率) 75%

■都道府県の分布





指標(選定案)の実施状況6

胃がん 切除不能IV期胃がんへの化学療法前HER2検査 2021年

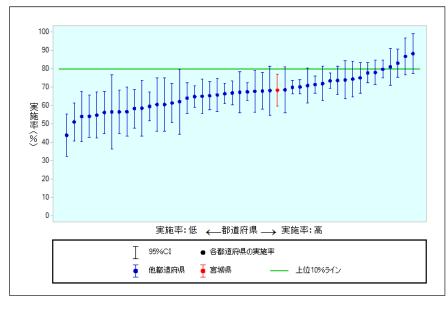
OI-st3 切除不能IV期目がんへの化学療法前HER2検査

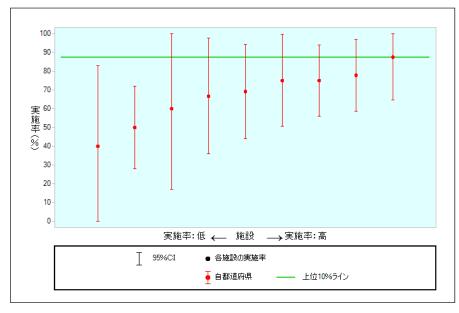
分子: 初回化学療法前にHER2テストを実施した患者数

分母: 切除不能進行胃癌で初回化学療法が行われた患者数 コメント: 切除不能=「StageIVで手術がないもの」として抽出

グループ: (対象患者数) 6435 (実施率) 68.6% **宮城県:** (対象患者数) 110 (実施率) 68.2%

■都道府県の分布





指標(選定案)の実施状況で

大腸がん III期大腸癌への術後化学療法 2021年

QI-c32 III期大腸癌への術後化学療法

分子: 術後8週間以内に標準的補助化学療法が施行された患者数

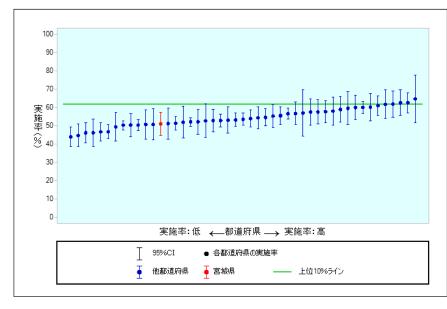
分母: 組織学的StageⅢと診断された大腸癌患者数

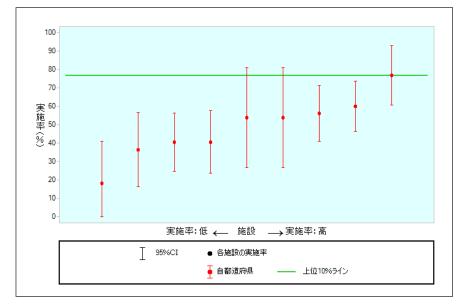
コメント:

グループ

: (対象患者数) 18123 (実施率) 53.3% **宮城県:** (対象患者数) 245 (実施率) 51%

■都道府県の分布





指標(選定案)の実施状況®

乳がん 乳房温存術後の放射線療法 2021年

QI-b35 乳房温存術後の放射線療法

分子: 術後全乳房照射が行われた患者数(術後7ヶ月以内)

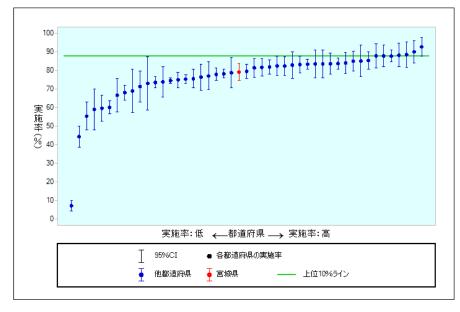
分母: 乳房温存術を受けた70歳以下の乳癌患者数

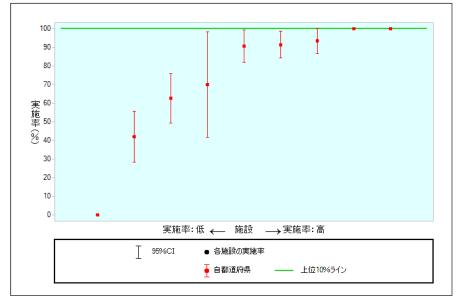
分子: 術後化学療法なし→術後放射線治療が最後の手術日から140 日以内、術後化学療法あコメント: 🌣 💢 🎢 はおいまして

グループ (対象患者数) 16390 (実施率) 75.1% 宮城県: (対象患者数) 326 (実施率)

全体 79.1%

■都道府県の分布





ロジックモデル・指標(案)

目標値設定の考え方

県全体の実施率を現況値より改善を目指す。

C 初期アウトカム										
			現況							
番号	指標			国 (%)	県 (%)	2次医療圏	年/ 年度	目標値	出典	
	QI指標 (県内実施率)	肺	IV期の腺癌に対するがん薬物療法 前のEGFR遺伝子変異検査	81.6	78.9	_	R3	改善		
			I - II 期非小細胞肺癌に対する外 科切除あるいは放射線療法	91.2	92.3	_	R3	改善		
		列 QI指標 (県内実施率)	子宮頚	III・IVA期に対する同時化学放射 線療法	59.0	57.1	_	R3	改善	
C0501			卵巣	治療前の深部静脈血栓症のスク リーニング	81.2	82.2	_	R3	改善	QIプロセス指標 (標準診療実施率)
			子宮体	再発中リスクの子宮体癌への術後 療法	63.8	75.0	-	R3	改善	(国立がん研究セ ンター)
			胃	切除不能IV期胃がんへの化学療法前HER2検査	68.6	68.2	_	R3	改善	
		大腸	III期大腸癌への術後化学療法	53.3	51.0	-	R3	改善		
		乳	乳房温存術後の放射線療法	75.1	79.1	_	R3	改善		